

現状

- ▶ 外国人宿泊者数・県産農産物の輸出量等の震災前水準の回復や県産日本酒の金賞受賞数6年連続日本一など成果が出ている一方、風評・風化の問題は依然として厳しい状況にある。
- ▶ トップセールスや「TOKIO」の新CMによる農産物のPR、福島ならではの観光誘客、全国規模の企業とのコラボレーション企画、県内市町村との合同プロモーションなど、平成30年度の取組が本格化してきている。

◆ 風評・風化対策の効果的な実施に向けて、「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」を策定した国との連携を強化するとともに、企業・団体・自治体など様々な皆様との「共働」により、心に響く、届く発信で、本県に対する関心度向上とイメージ回復を図る。

県産品の販路回復・開拓

TOKIOのCM等による農産物PR



全国新酒鑑評会金賞受賞数
6年連続日本一PR

首都圏や海外での
日本酒の販路拡大



知事、副知事
トップセールス

オンラインストア
でのキャンペーン



観光誘客の促進
教育旅行の回復

ホープツーリズム
の推進



酒蔵など地域資源を
活用した周遊企画



海外でのプロモーション



歴史をテーマにした
広域観光の推進



教育旅行の誘致



国内外への正確な情報発信

全国植樹祭や太平洋・島サミット等での発信



県公式イメージポスターによる発信



MIRAI 2061の
全国への配信



チャレンジふくしま
フォーラムでの発信



「共働」による新たな取組

全国の企業・団体等との連携



各都道府県との連携
(他県広報番組での
福島情報の発信)



国との連携
(各省庁でのふくしま
復興フェアの開催)



県内市町村との共働 (オールふくしまPR)



土台となる取組 (徹底した安全・安心の確保/正確な情報発信)

環境回復の取組

除染後のモニタリング
廃炉・汚染水対策 空間線量測定

徹底した食品の検査

農林水産物のモニタリング 米の全量全袋検査
肉牛の全頭検査 自家消費野菜の検査

放射線に関するリスクコミュニケーション(正確な情報・知識の普及)

県民を対象とした食と放射能に関する説明会・シンポジウムの開催 県内の小・中学校における
放射線教育の充実 理解促進のためのパンフレット等を活用した県内外イベント等での発信強化